

# 令和7年度 小平市立学園東小学校 授業改善推進プラン 5年

学年	学年の指導方針	改善方法・改善策	評価方法	12月	3月
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の基礎を身に付け、様々な場面で使えるようにする。</li> <li>読書習慣や記述の力を身に付ける。</li> <li>話し合い活動を意図的に取り入れ、自分の意見を言葉や文章で伝えたり、相手の考えを認めたりする活動を通して、自分の考えを広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の字形や筆順、部首に注目させ、注意点や覚え方などのポイントを絞って指導を行い、定着を図る。日常的に漢字を使うように指導する。</li> <li>音読活動を意図的に増やす。授業での図書室の利用回数を増やしていく。授業の最後に学習感想を書かせ、考えを表現していく。</li> <li>話し合いの方法や話型を示し、様々な話し合いの形態を経験する機会を多く設定し、他教科でも指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとに児童の授業評価を行う。話す・聞く…発言・話し合いの様子書く…学習感想・ノート読解力…テストで数値化漢字…ノート・作文・テスト、小テストが80%以上達成できているかどうか。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から分かることを、複数の資料、既習事項や日常生活と関連付けて、まとめられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りの視点やまとめる際の手本や話型、キーワードを提示し、自分の言葉でまとめられるようにする。</li> <li>読み取ったことを友達と共有し、他の視点に気付いたり、考えを深めたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して資料から必要な情報を読み取れているか。(ノートにまとめが書けているか。(発表、ノート)</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や図などを使って自分の考えを表現、説明できるようにする。</li> <li>ドリルやプリントで既習事項の復習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別の人数を配慮し、それぞれのクラスに合わせて、絵や図などを使って自分の考えを表現する力を育てる。</li> <li>ドリルやプリントを活用し、基礎基本の定着を図る。</li> <li>個に応じて、学習の定着が図れるように復習の時間を適宜とる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート、ワークシート、ワークテストから知識・技能を評価する。</li> <li>机間指導でノートの記述やつづきやきを把握し、思考過程を評価する。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容や経験に基づいた根拠のある予想や仮説を発想できるようにする。</li> <li>正しく科学用語を使えるよう指導する。</li> <li>考察を導くために自分の予想に立ち返らせ、記述のための話型を示していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験を補った体験活動を取り入れたり、既習事項を整理して提示したりして、根拠をもった予想を立てられるようにする。</li> <li>科学的用語を意識して問題の解き方になれるようにする。</li> <li>学習の展開例や話型を示すことで思考の流れが分かるノートの書き方を指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童のノートやワークシートから予想や考察、結論の記述内容を見取り、思考力、判断力、表現力を評価する。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽と歌唱に重点を置いた授業を展開し、鑑賞、音楽づくりについても年間通じて授業で扱う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルトの旋律の動きを重点的に扱い、部分的に声を重ねたり、声の重なりを聞く経験を積ませたりする。</li> <li>スモールステップと繰り返し学習により、基礎・基本の定着を図り、音を合わせる経験を通してアンサンブルの楽しさを味わわせ器楽に対する興味関心を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏の聴取や実技テストや提出物等で評価する。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が目標をよく理解し、そこに向かえるようにする。</li> <li>児童の発想を尊重し、創意工夫する意欲を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた声掛けを通して、児童の試行錯誤を促す。</li> <li>児童がつくる作品とその奥にあるものをよく見極めて声掛けするようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品や制作過程から、意欲や技能を評価する。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的に運動のポイントを理解し、自ら課題を設定したり、解決方法を決めたりする力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童同士で動きのコツやポイントを共有する時間を確保し、課題解決の方法が身に付くようにする。運動の手本を動画で示したり、自分の動きを動画で振り返らせたりする等して、具体的な指導を入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとに児童の授業評価を行う。</li> <li>お互いの運動の様子を見る活動を通して、評価していく。</li> </ul>		
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活に必要な知識と技能を身に付けさせ、家庭でも実践できるような家庭学習の機会を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での課題を設定するとともに、日常の生活場面を振り返りながら学習を進め、家庭での様子にも目を向ける機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト、ワークシートで評価する。</li> <li>授業観察や作品製作で評価する。</li> <li>児童の自己評価を行う。</li> </ul>		
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者用端末のソフトや資料など、学習をまとめたり発表したりするための様々な方法を提示し、表現力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動教室やお米作りを通して、調べ学習や体験活動をできるだけ多く取り入れ、自ら課題を見出し解決していく経験を多く積ませ、発表する場面を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習に主体的に取り組んでいるかどうか、学習の様子や提出物等で評価する。</li> </ul>		
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>責任感をもって最後まで活動させる。</li> <li>常に自分達が学校の手本となることを意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終的な目標を提示し、見通しをもって活動できるようにする。</li> <li>全校遠足や縦割り昼休みの活動では、サブリーダーとして全体を考えたりする活動をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専科や他学年の意見を踏まえ、活動の様子を観察して評価する。</li> </ul>		
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し発話の練習をして、自信をもって発話や記述ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し発話練習をさせたり、英語の意味を状況から推測させたりする場面も取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のまとめのテストやスピーチテストが、90%以上達成できているかどうか。</li> </ul>		
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科や日々の生活と関連付け、道徳的な価値を認識させ、実践力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の問題場面を自分の生活を振り返って考えてみることを促し、自分ならどうするかを具体的に考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の今後の生き方について考えさせ、考えを記述させる。(発表、ワークシート)</li> </ul>		
I C T	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表用スライドやアンケートの作成、意見交換アプリの活用を通して新しいスキルを身に付けられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に国語や総合的な学習の時間の発表等、授業での活用場面を増やし、効果的な活用ができるようにしていく。</li> <li>社会や理科、総合の学習の時間で学んだことをスライドでまとめる作業を通し、効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められた時間内に学習者用端末での成果物を完成させられるかどうかを評価する。(学習の様子、作成物)</li> </ul>		

		的な画像の挿入等を経験させる。			
--	--	-----------------	--	--	--